



第51回防衛問題セミナー



北海道防衛局は、令和8年2月3日（火）札幌市教育文化会館 講堂（札幌市）において、防衛省と女性・平和・安全保障（WPS）をテーマに、防衛問題セミナーを開催いたしました。

講演に先立ち、掛水北海道防衛局長から開催挨拶を行いました。



主催者挨拶
掛水北海道防衛局長

『防衛省と女性・平和・安全保障（WPS）～国内外における取組と進展～』 防衛政策局 WPS国際連携室長 松沢 朝子



松沢講師から『防衛省と女性・平和・安全保障（WPS）～国内外における取組と進展～』と題し、WPSの背景・経緯、国際社会の動きや、WPS推進の意義と必要性を解説しながら、防衛省のWPS推進の取組状況などについて、講演しました。

今回のセミナーでは、札幌市周辺にお住まいの方など約70名が来場され、多くの質問をいただくなど、大変盛況のうちに終了しました。

参加いただいた方からは、

「防衛省・自衛隊におけるWPSの必要性が分かり勉強になった」

「（WPSが）まだまだ認知されていない事があると感じた、民間への普及が低調なのには驚いた」

「女性が活躍するためには、平時から自衛官のための24時間あずかり施設をもった保育所が必要不可欠、女性隊員が困らない土台があってこそだと思う」

などのご意見をいただきました。

当局では、防衛政策や防衛省・自衛隊の活動等について、皆様にご理解・ご協力いただけますよう、今後も防衛問題セミナーを開催してまいります。



※WPSとは？

WPSとは、Women, Peace and Security（女性・平和・安全保障）の頭文字であり、国連安保理決議第1325号の通称。

紛争、災害等発生時に、より脆弱な立場に置かれる女性、女兒等は特に保護すべき対象であると認識して、保護・救済に取り組みつつ、女性が指導的及び主体的に、紛争解決や災害対応のあらゆる段階に参加することで、より持続的な平和に資することができるという考え方。